

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年10月6日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障の充実、消費税増税の中止を

年金拡充など安倍総理への直訴運動進む

年金者組合が、年金の引き下げに対する不服審査請求の取り組みに続いて、安倍総理大臣あてに、「年金削減中止と最低保障年金の実現」などを求める請願活動と呼びかけています。10月1日現在で、年金者組合道本部に届いた署名は**4501**筆となりました。どなたでも請願できます。大きく広げましょう。



内閣総理大臣 安倍晋三様

年金削減中止、最低保障年金の実現など

年金とくらし守れ 請願書

【私の訴えから】

「年々年金が減って大変です。いくら支給されるか毎年ドキドキです。安心してらせる老後を保障して」

「年金が下がる一方で消費税が高くなり、働きながら、年金をいただいても暮らしていくのがやっとの現状です。年を取って先の生活が安定しないとう不安があり心配です」

「私は遺族年金で暮しています。年金だけでも生活です。これ以上年金が下げられると、毎日の暮らしが苦しいです。子どもには迷惑はかけられません。病院代もかかります。安倍さんはこんな生活はした事はないでしょう。わたしたちは死活問題です。88歳」

医療機関の待合室でも行動

室蘭

苫小牧

室蘭では、年金者組合が中心となり、勤医協室蘭診療所で年金署名を行いました。9月8日～12日までの5日間、診療所の外来の一角を借りて「年金とくらし守れ！」20万人請願署名を行いました。200名以上が署名しました。



また、苫小牧でも、年金者組合などが中心となり、勤医協苫小牧病院内で9月8日～12日に署名行動を行いました。

待合室に署名コーナーを作り、診察を待っている人に署名をお願いすると皆さん気持ちよくしてくれ、延べ25名が参加し371筆集まりました。

「今、年金生活者は月々の支払いなどで苦労してやりくりしています。これ以上の年金引き下げはやめて下さい」、「年金財源のリスクの多い運用をやめて下さい。軍事費を削減せよ」とたくさんの声が寄せられました。



10月15日 年金と暮らしを守れ！宣伝&デモ くらしを守ろう 社会保障 消費税 年金

集合場所：大通西3丁目 宣伝：12時～

デモ：12時30分～ ススキノ交差点まで



10月19日(日) 北海道社会保障学校 in 室蘭 参加申込受付中